

令和7年度 地区防災計画作成研修会 第1回

地区防災計画 導入版 をつくってみましょう！

【次 第】

1. 開会
2. あいさつ
3. 地区防災計画と導入版について
4. 導入版をつくってみよう！
 - ①作業方法の説明
 - ②各自主防災組織で作成
 - ③発表
5. 閉会

令和7年7月15日（火） 10時～11時30分 ／ 18時30分～20時

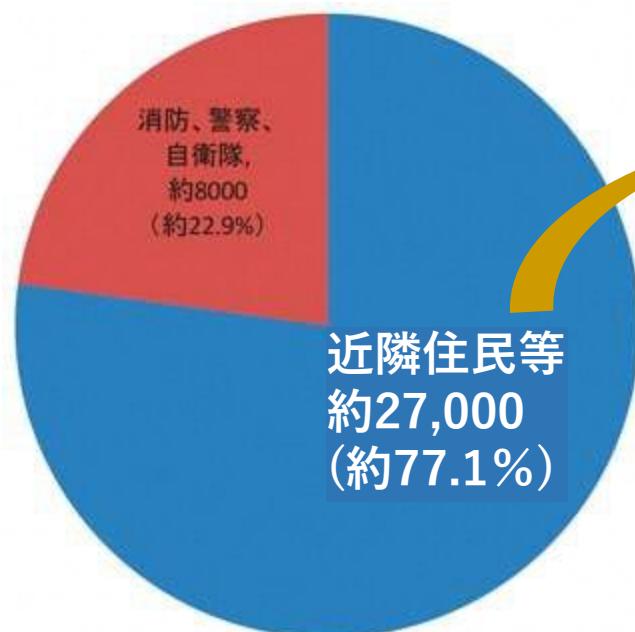
3. 地区防災計画と導入版について

3. 地区防災計画と導入版について

(1) 地区防災計画について

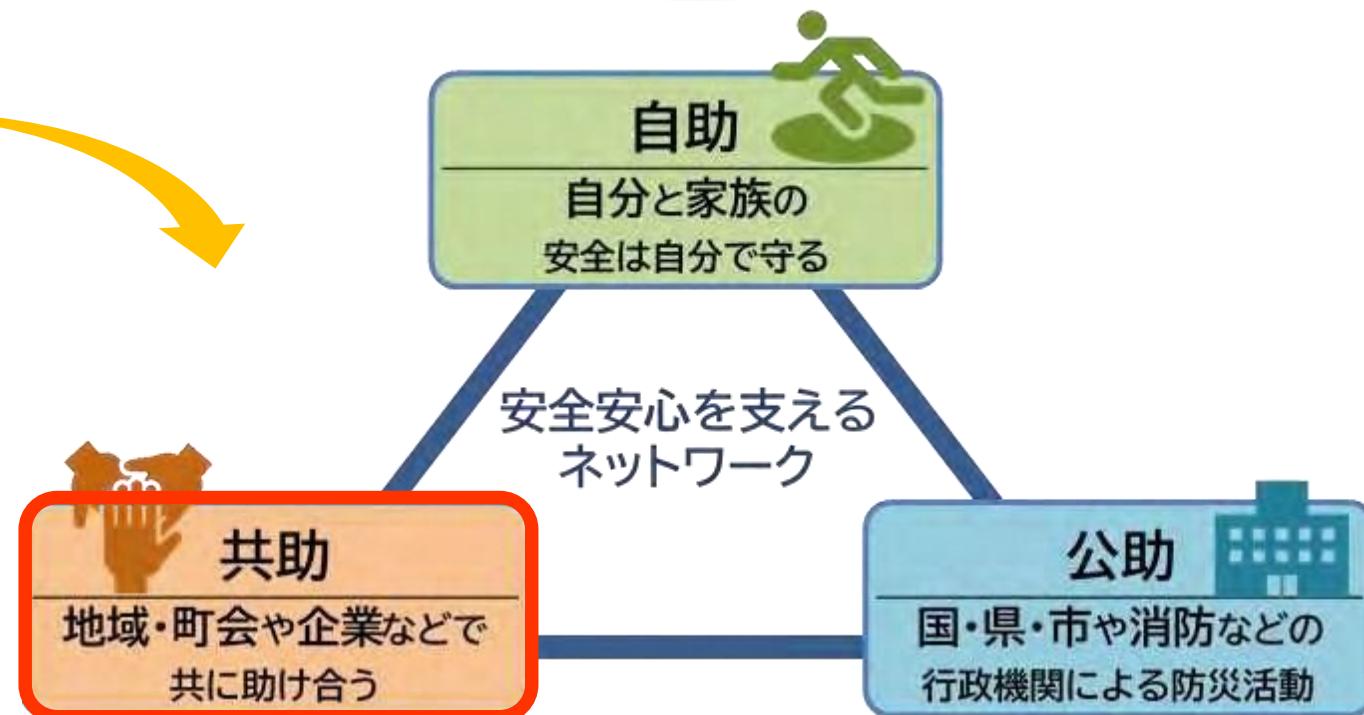
図表1 阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数

(平成26年版防災白書より)



推計：河田惠昭(1997)「大規模地震災害による人的被害の予測」自然科学第16巻第1号参照。ただし、割合は内閣府追記。

共助による活動は重要な役割を果たします！

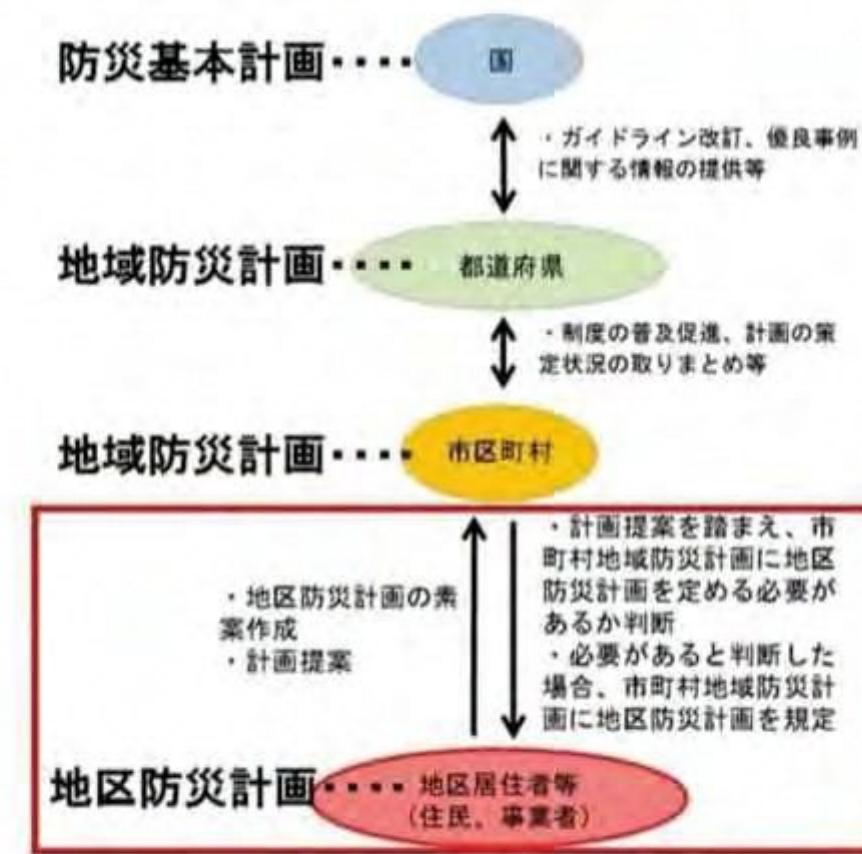
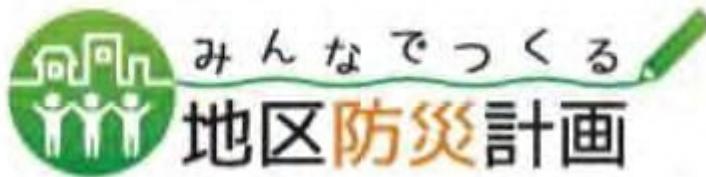


3. 地区防災計画と導入版について

(1) 地区防災計画について

(1) 地区防災計画の第一歩・ステップ1 ～地区防災計画の誤解とホント～

- ✓ 地区防災計画とは、「防災基本計画」「地域防災計画」にならぶ防災計画の1つで、**東日本大震災以降に新たに作られた制度**
- ✓ **どこでも、誰でも、いかようにも作れる防災計画**
- ✓ これまでの行政計画とは一線画す画期的な概念の計画
- ✓ **形式も特に定めはない**



(1) 地区防災計画について

(1) 地区防災計画の第一歩・ステップ1

- ✓ 「地区防災計画」をめぐって、様々な誤解が生じています
- ✓ 「地区防災計画」を作ることの目的は、**人的・物的被害を減らすこと**
- ✓ その原点に立脚して、右の4つの「誤解とホント」をまとめました
- ✓ 「地区防災計画」のキレイな計画書を作ることに執心するのではなく、**計画の課題を明記し、計画に基づいた実践で検証することが最も重要**

地区防災計画の4つの誤解とホント

■ 地区防災計画は行政が行うことではあります。

「行政から住民へ」と防災の担い手の幅を広げ、小さなことでも良いので、**住民主体**で何かにとりくむこと、それが地区防災計画です。行政はその手助け役です。

■ 地区防災計画は計画書を作ることではあります。

計画書やマニュアルなど書類を作ることが目的ではなく、住民の視点、地区の特徴を活かした活動を実際に進めることができますが地区防災計画です。

■ 地区防災計画はどの地区でも一緒ではあります。

「お隣では津波避難訓練をしているからうちでも…」ではなく、自分の地区の特徴を生かして、自分の地区にしかない**「オンリーワン」**の活動を手作りで！

■ 地区防災計画は一度きりで終わりではあります。

地区防災計画とは、一度何かを実施し終わりではなく、「計画→実施→ふりかえり」を繰り返して、改善を重ねながら**長期間**続けていくものです。

※令和4年度自主防災組織研修会・杉山先生（現九州大学准教授）講演資料より

3. 地区防災計画と導入版について

(1) 地区防災計画について

(2) 地区防災計画の第一歩・ステップ2 ～「まねっこ防災」に注目してみよう～

地区防災計画のつくり方：ものづくりの2つの方法



エンジニアリング的
「②レシピ入手し、それに従って料理をつくる」



科学知識ー設計ー必要な道具・ものー組み立て

※令和4年度自主防災組織研修会・杉山先生（現九州大学准教授）講演資料より

3. 地区防災計画と導入版について

(1) 地区防災計画について

■構成の例

0. はじめに

- ・計画の目的
- ・基本的な考え方

1. 地区の特性

- ・対象とする区域
- ・地区の特性
- ・防災マップ

2. 活動体制

- ・本部
- ・班構成と活動内容

3. 災害時の活動

- ・本部と各班の活動
- ※水害時／震災時を分ける場合は明記

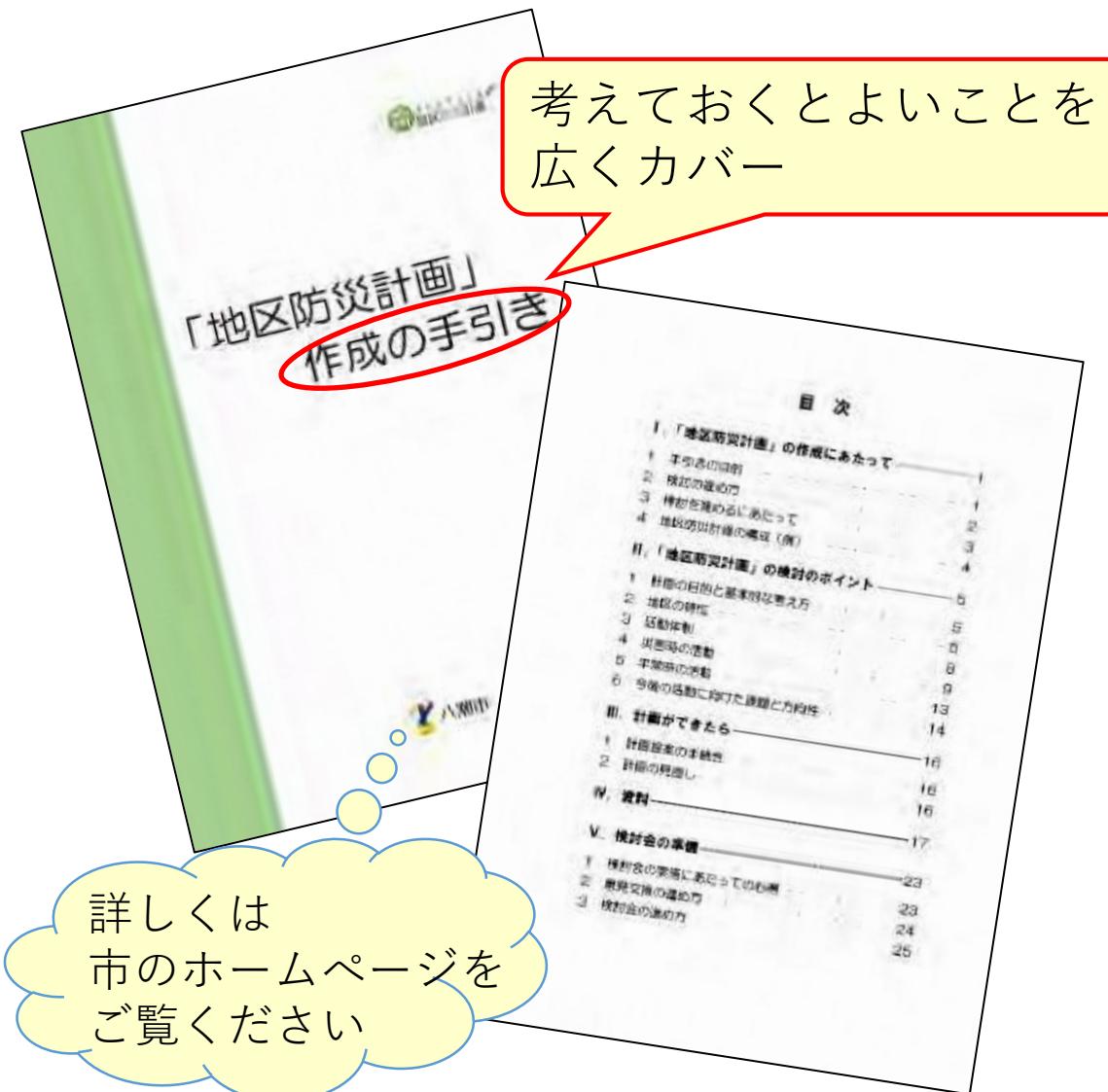
4. 平常時の活動

- ・各家庭で取り組むこと（自助）
- ・地区で協力し合って取り組むこと（共助）

5. 今後の活動に向けた課題と方向性

3. 地区防災計画と導入版について

(2) 導入版について



地区防災計画 **導入版** を
作ってみましょう！

● 対象とする区域：
● それぞれの自主防災組織の範囲を、図または文章で書いてみてください。
(例)・町会・自治会の区域
- つじ町心番～び番
-複数な場合は図だけでもOK！(下に図を貼っておきましょう)

● 対象者
★ 実際には、まず町会・自治会に入っている方が中心になりますが、入っていない方も含めた全ての方に広げていくことを自指して、「[市]町会・自治会の居住者、事業者など町会内にいるすべての人」としてください。



令和 年 月

【参考】災害時・平常時の活動から今後の活動（課題）を考えるポイント（地震・水害）

★ 災害時・平常時の活動から今後の活動課題を考える例です。地震発生の場合を基本に作成しておりますが、水害にも重複する内容があります。これを参考に、災害時に必要となる活動から、現状何が課題で、平常時から何を準備し、考えておくのがよいかもまとめておきましょう。

担当班（署）は現在の体制に沿って配置を見直したり、体制が決まっていない場合は、話し合って役割を決めてみてください。

①【地震】発災直後から暫時間	開け	消滅	その後の活動（課題）	ページへ	担当班（署）	水害時の体制
災害・避難状況などを周囲 の収集・井戸、石造	情報収集・共有（派遣する方角、内容を決めていますか？）	決めていない	方法（LINEなど）や内線を考え、連絡体制を決めておく。	リーフレット	本部（警察・消防連絡班 が中心）	本部（警察・消防連絡班 が中心）
電波が通らない（電話・メール・SNSがつながらない）場合 の連絡手段は決めてありますか？	決めていない	公民館など場所を決めて集合し、情報を収集する ようにします。	消防署に連絡する担当者を決めておく。	消火・救援班	本部（警察・消防連絡班 が中心）	本部（警察・消防連絡班 が中心）
野生した火災は消防署などで消してある大きさですか？	できる (担任対応可能)	日曜から朝まで活動して消防署の出勤場所、点検、 巡回方法を整然とする。	消火・救援班			

“第一歩”的
きっかけに！

導入版
地区防災計画

●対象とする区域：

●対象者：

令和 年 月 第 版

団体名：

この後、作成してみましょう！

1. 地区の概要

(1) 地区の特性

令和〇年〇月〇日現在

①自主防災組織の区域の状況

- | | | |
|----------------------------|------------|-----------|
| ・世帯数：_____世帯 | ・加入している世帯数 | おおよそで結構です |
| ・支援が必要な人：_____人 | ・人口：_____人 | |
| ・一時的に身の安全を確保する場所（指定緊急避難場所） | | |

地震	水害
ハザードマップ1～5ページから探してください	

・自宅で生活できなくなった人同士が共同で生活する場所（指定避難所）

地震	水害
ハザードマップ1～5ページから探してください	

・町会・自治会の土地の高さ（標高）は 約 _____ m

・町会・自治会内に狭い道路（道幅4mに満たない道路）が ある ない

インターネットで「地理院地図」を検索
⇒「地理院地図 / GSI Maps | 国土地理院」を開くと画面左下にあります

②想定される災害

ハザードマップ3.4～3.5ページから探してください

・【地震】今後30年以内に70%の確率で発生すると想定されている東京湾北部地震において、当地区的震度は 6弱 ～ 6強 全壊率は %以上

%未満、液状化の可能性は 高い ～ やや高い ～ 低い ～ 程度低い が予想されます。

・【水害】氾濫した場合に最も浸水範囲が広い 利根川が氾濫した場合において、当地区的浸水深さは _____ m、浸水継続時間は _____ 時間（ 日間）が予想されます。

・過去に発生した災害と被害

いつ、どのような災害が、地区のどこで起きたのか書いてください。
(例)、令和〇年の集中豪雨で、〇〇町〇番地付近で水があるれた。
+〇〇地震の時に、食器棚が倒れた家があった。

2. 備蓄品リスト等

(1) 備蓄品リスト

担当班	担当者	品名	数量	保管場所	更新予定	備考
					年 月	
					年 月	
					年 月	
					年 月	
					年 月	

★既にリストがあれば、それを貼り込んでください。

★期限の確認が必要とお考えの場合でも、ひとまず現在の内容で書き込んでみましょう。

-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
					年 月	
					年 月	
					年 月	
					年 月	
					年 月	
					年 月	
					年 月	

(2) 倉庫等のカギの管理

施設	正	副
備蓄倉庫		
集会所	-----	-----
指定避難所・門	-----	-----
指定避難所・体育館		

3. 活動体制

★既に体制図があれば、それを貼り込んでください。

★見直しが必要とお考えの場合でも、ひとまず現在の体制を書き込んでみましょう。

【例】

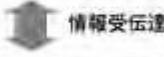
指定避難所

○○○小学校、△△△中学校

八潮市



連携



情報受伝達

【本 部】<設置場所> 震災時：○○公民館 水害時：○○○学校

本部長：町長・自治会長 本部員：

氏名 _____

住所 _____

氏名 _____

住所 _____

氏名 _____

住所 _____

電話 _____

電話 _____

電話 _____

副本部長：副会長

氏名 _____

住所 _____

氏名 _____

住所 _____

氏名 _____

住所 _____

電話 _____

電話 _____

電話 _____

総務・情報
連絡班

班長：
班員：

消防・救護班

班長：
班員：

要配慮者
支援班

班長：
班員：

物資・
避難所班

班長：
班員：

4. 平常時・災害時の活動

(例) 地震・水害共通 班体制と活動内容

★班体制と活動内容の例です。現在の班体制に合った形にしてみてください。

役職・班	平常時の活動内容	災害時の活動内容
全員共通	<ul style="list-style-type: none"> ・班編成 ・連絡体制の構築 ・訓練の計画、実施 ・地区的特性、想定災害の把握 ・危険箇所などの確認・周知 ・物資及び音機材の種類・数量・保管場所の把握 ・個人備蓄などの啓発活動 ・気象情報の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡体制の確認 ・安否確認
事務	<ul style="list-style-type: none"> ・各班の必要人数、責任者及び担当の振り分け ・会長の補佐、代理の振り分け ・指定避難所や市との連絡方法の確認 ・近隣の団体と調整 ・自主防災組織班構成表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集（避難者の把握など） ・市や関係団体との連絡 ・本部の設置、運営 ・会長の指揮 ・会長の補佐、代理 ・各班の統括（班員の差配、明の再編など） ・避難行動要支援者の把握、安否確認票の準備 ・指定避難所開設運営の協力を指示
総務・情報連絡班	<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認票の作成（要記述者支援班と協力） ・情報収集、共有、伝達方法など ・連絡体制の検討 ・広報活動方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦害・避難状況など情報の収集、共有、伝達（各班の情報を本部へ報告） ・広報活動
消防・救護班	<ul style="list-style-type: none"> ・物資、音機材の調達・管理・運搬（物資・避難所班と協力） ・音機材の点検、使用方法の啓発 ・避難者の防火、防犯対策の検討 ・消防署への連絡担当者の検討 ・避難誘導方法の検討（要記述者支援班と協力） 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導（要記述者支援班と協力） ・初回消火活動 ・消防署へ連絡 ・要救助者の確認、救出 ・音機材の確保 ・軽症者の救護活動 ・避難行動要支援者の状況の把握、支援（要記述者支援班と協力） ・在宅避難者の把握、生活支援（要記述者支援班と協力） ・物資の運搬（物資・避難所班と協力） ・町会内の巡回などの広報（ブレーカーの追跡、危険箇所の入り禁止などの措置）

要記述者支援班	<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認票の作成（物資・情報連絡班と協力） ・避難行動要支援者の把握（名簿作成・場所の確認）及び避難誘導方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導、避難行動要支援者への避難の確認（消火・救護班と協力） ・安否確認（物資・情報連絡班へ報告） ・避難行動要支援者の状況の把握、支援 ・在宅避難者の把握、生活支援
物資・避難所班	<ul style="list-style-type: none"> ・物資、音機材の調達・管理・運搬（消火・救護班と協力） ・音機材の点検、使用方法の習得 ・指定緊急避難場所、指定避難所の確認 ・災害時のトイレ対策検討 ・ごみ出しルールの検討 ・着替え場所など女性への配慮の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資の確保・運搬・配分 ・炊き出しで使用的食料・燃料確保 ・看守巡回所開設運営 ・ライフライン（電気、ガス及び水道）やトイレの利用可否確認 ・災害時トイレの設置 ・給食・給水 ・物資の需要の把握 ・避難所内の巡回 ・ごみ出し方法のルール化

■時間経過にともなう活動のイメージ

【地震の場合】記載例

★時間経過にともなう活動の例です。合体させたり分けたりして、現在の班体制に合った形にしてみてください。				
役職・班	発災直後～数時間	発災当日～3日程度	3日～1週間程度	1週間以降
本 部	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>情報収集（避難者の把握など） <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>本部の設置・運営 <input type="checkbox"/>全体の指揮 <input type="checkbox"/>各班の統括（班員の配属、班の再編など） <input type="checkbox"/>避難行動要支援者名簿・安否確認票の準備 <input type="checkbox"/>市や関係団体との連絡 <input type="checkbox"/>指定避難所開設運営の協力を指示 			
総務・情報監測	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>被害・避難状況など情報の収集、共有、伝達（各班の情報を本部へ報告） <input type="checkbox"/>広報活動 			
消火・救援班	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>避難誘導 <input type="checkbox"/>初期消火活動（消防活動人員の割振り、活動指示含む） <input type="checkbox"/>消防署への連絡 <input type="checkbox"/>要救助者の確認（救助人員の割振り・救助指示、搬送人員の割振り含む） <input type="checkbox"/>資機材の確保 <input type="checkbox"/>軽避難者の救護活動 <input type="checkbox"/>避難行動要支援者の状況の把握、支援 <input type="checkbox"/>在宅避難者の把握 <input type="checkbox"/>物資の運搬 <input type="checkbox"/>町会内の巡回などの広報 <input type="checkbox"/>在宅避難者の生活支援 			
要配慮者支援班	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>避難誘導 <input type="checkbox"/>安否確認 <input type="checkbox"/>避難行動要支援者の状況の把握、支援 <input type="checkbox"/>在宅避難者の把握 <input type="checkbox"/>在宅避難者の生活支援 			
物資・避難所班		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>物資の確保・運搬・配分 <input type="checkbox"/>炊き出しで使用の食料・燃料の確保 <input type="checkbox"/>指定避難所開設運営 <input type="checkbox"/>ライフラインやトイレの利用可否確認 <input type="checkbox"/>災害時トイレの設置 <input type="checkbox"/>給食・給水 <input type="checkbox"/>物資の需要の把握 <input type="checkbox"/>避難所内の巡回 <input type="checkbox"/>ごみ出し方法のルール化 		

【水害の場合】記載例

★時間経過にともなう活動の例です。合体させたり分けたりして、現在の班体制に合った形にしてみてください。

役職・班	初期	初期	災害発生のおそれ	初期発生
			初期時～避難実施	
				台風が去って落ち着いてから
警戒レベル	1	2	3	4
気象庁の情報	平和地帯情報 (災害の可能性)	大雨注意報 洪水注意報	大雨警報 洪水警報	大雨特別警報 氾濫警報
避難情報 (市が発布)	市からの避難情報は状況に応じて出します	避難者登録簿	避難指示	市主催避難場
機動所の本位	避難注意水位	避難警戒水位	避難危険水位	
役職・班	初期	初期	初期時～避難実施	初期発生
全員共通			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>台風や異常などに関する気象情報の収集 <input type="checkbox"/>避難の準備 <input type="checkbox"/>連絡体制の確認 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>安否確認 <input type="checkbox"/>在宅避難・車直避難など注意の呼びかけ <input type="checkbox"/>避難所開設の判断（市）
本部			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>避難行動要支援者名簿・安否確認票の準備 <input type="checkbox"/>市や関係団体との連絡 <input type="checkbox"/>本部の設置（の判断）・運営 <input type="checkbox"/>全体の指揮 <input type="checkbox"/>避難所開設運営の協力を指示 	
総務・情報連絡班			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>台風や浸水対策などの情報発信 <input type="checkbox"/>被害・避難状況など情報の収集、共有、伝達（各班の情報を本部へ報告） 	
消火・救援班			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>資機材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>避難行動要支援者の避難支援 <input type="checkbox"/>在宅避難者の把握
要配慮者支援班				<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>在宅避難者の生活支援
要配慮者支援班			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>避難行動要支援者へ避難準備の連絡（声かけ）、避難の意思確認 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>避難行動要支援者の避難支援 <input type="checkbox"/>在宅避難者の把握
物資・避難所班			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>物資の確保 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>避難所開設運営
				<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>ごみ出し方法のルール化

5. 今後の活動を決める

資料 【参考】災害時・平常時の活動から、今後の活動を考えるポイント（地図・水害）において、問い合わせに対する答え（現況）が「決めていない」や「出来ていない」などの答えであった項目は今後の課題として皆さんで考えてみましょう。

事例

No	現況	目標	どうやって (今後の活動)	誰が (担当)	いつ (実施)
例 1	被害・避難状況などの情報の収集、共有、伝達する方法を決めていない。	連絡体制を決めて、情報収集を行う。	方法（LINEなど）や内容を考え、連絡体制を決める。	全員（総務・情報連絡班を中心）	令和5年実施
例 2	消火器の使用方法がわからない。	消火器の使用方法を役員全員が習得する。	防災訓練などで消火器訓練を取り入れる。	消防・救護班を中心に役員全員	令和5年防災訓練で実施
例 3	倒壊のおそれのある物（建物、空き家、ブロック塀、自販機）や道幅の狭い道路など危険箇所を把握していないため、避難路が決まっていない。	発災時に安全に避難できるよう危険箇所を把握する。	まち歩きで確認、近所の方の話を聞いたりして把握できた場所を地図におとす。また、ハザードマップを確認する。	消防・救護班、要配慮者支援班が中心	令和5年ゴミゼロ運動後実施
例 4	自主防災組織で所有している物資、資機材の種類、保管場所、使用方法を一部の役員のみ把握し、訓練は年1回実施している。	物資、資機材を役員全員が把握し、資機材の使用方法を覚得する。	年2回の訓練などで物資、資機材の種類、保管場所を確認し、資機材の使用方法を確認する。	消防・救護班、物資・避難所班が中心	令和5年5月、10月に実施

6. 区域図

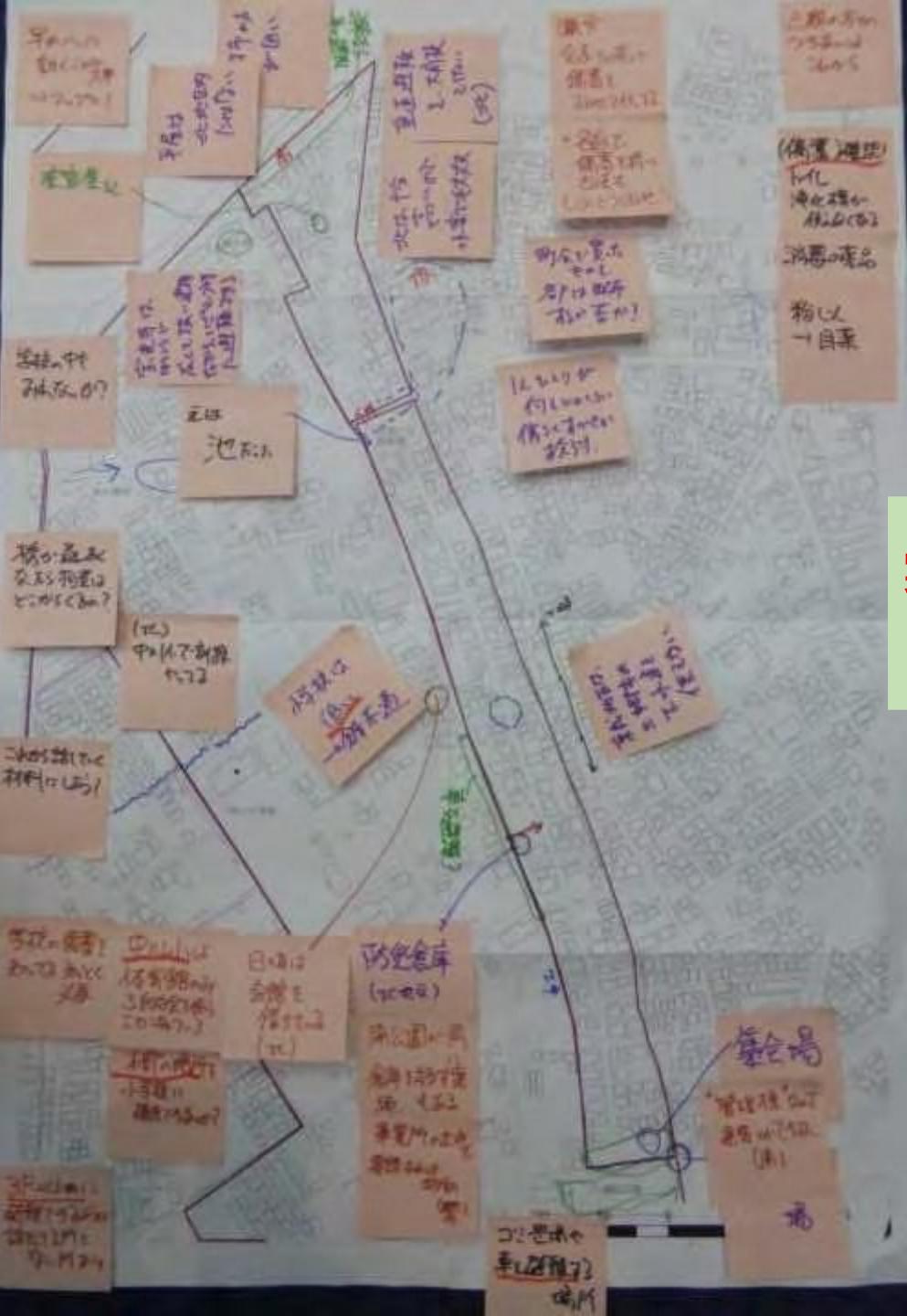
★ハザードマップ16～25ページの「洪水ハザードマップ詳細版」から、自主防災組織の活動区域の周辺をコピーし、活動区域を書き込んで、貼ってください。凡例も忘れず貼っておきましょう。

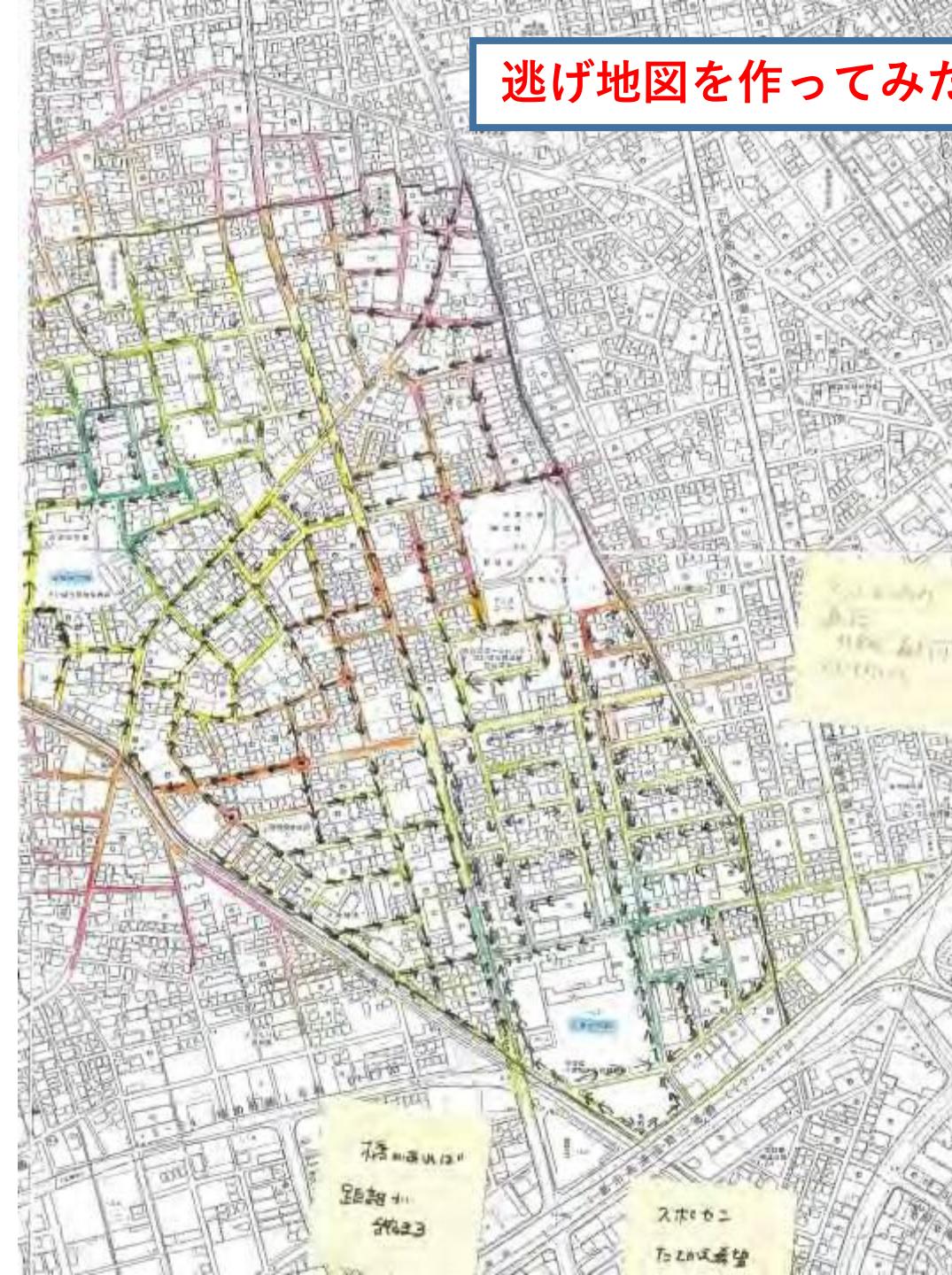
★さらに、町会・自治会の会館などの使える場所や、「1. 地区の概要」で書いた過去に被害があった場所、被害が起こりそうだと思う場所も書き込んでみてください。（訓練としてまちを点検してみる際の参考にすることができます。）

★市では白図を用意しています。もしよかったら使ってください。

点検マップを作ってみた！

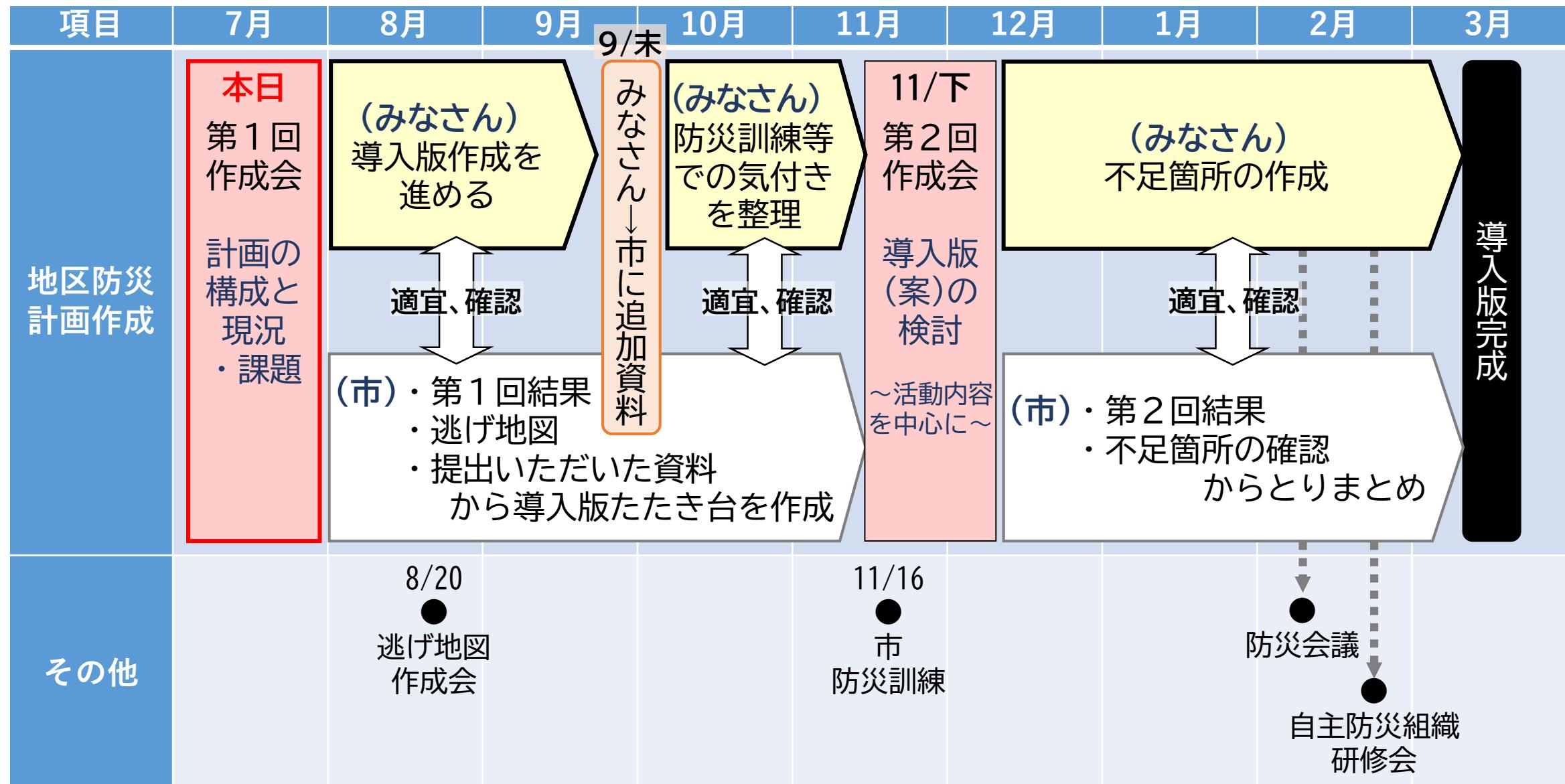
実際に
歩いてみた！





逃げ地図を作ってみた！

(3)今後の進め方について(予定)



4. 導入版を作ってみよう

●タイトル

⇒地区名を入れましょう。

●対象とする区域

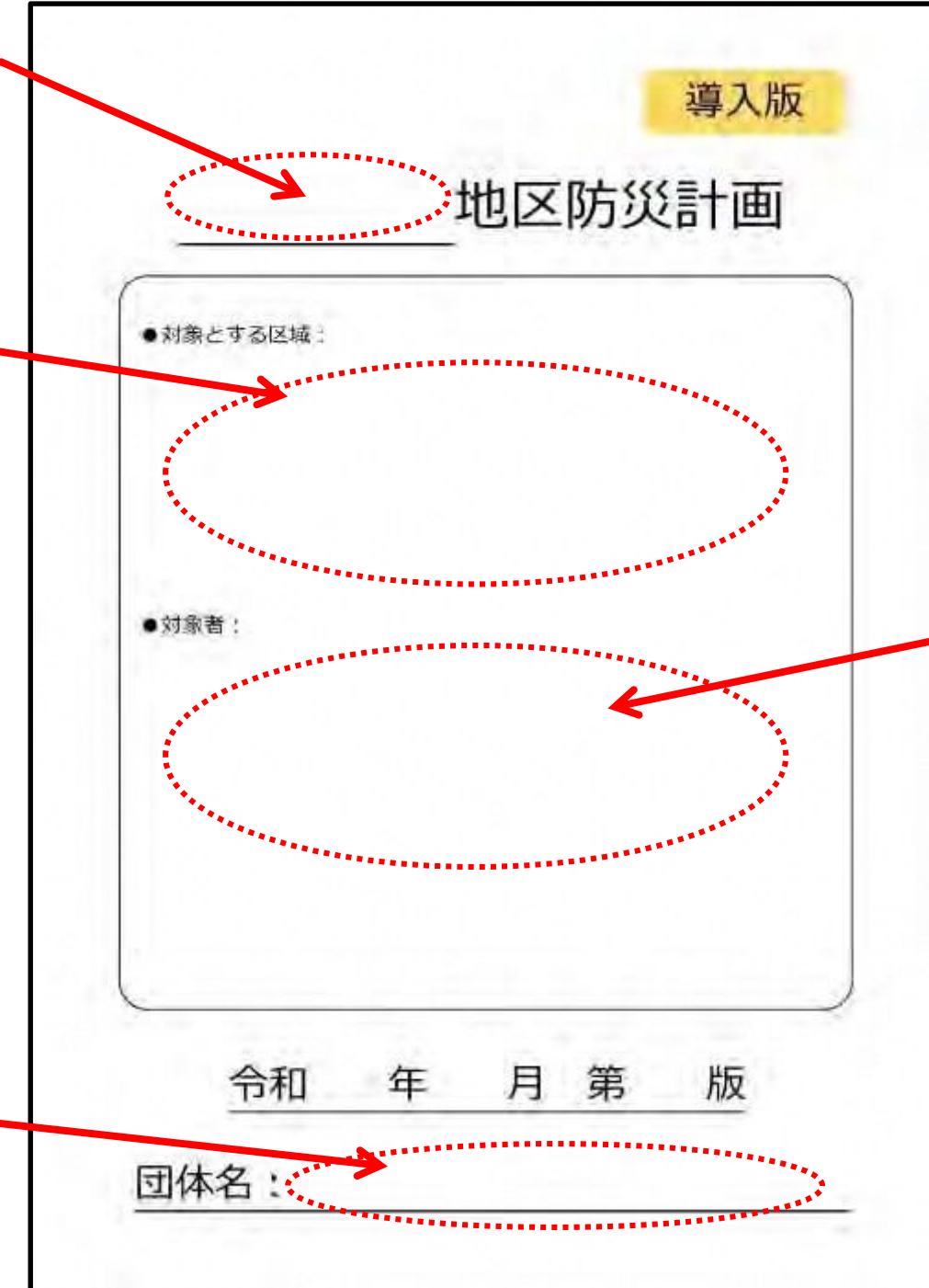
⇒みんなの自主防災組織の範囲を、図または文章で書いてみてください。

(例)

- ・□□自治会の区域
- ・○○町○番～○番
- ・複雑な場合は図を貼ってもOK！

●団体名

⇒自主防災組織名を入れましょう。



さっそく
導入版を
作ってみましょう



●対象者

⇒実際には、町会・自治会に入っている方が中心になりますが、入っていない方も含めた全ての方に広げていくことを目指して、

「□□町会・自治会の居住者、事業者など町会内にいるすべての人」

としてください。

ハザードマップ から整理しよう

1. 地区の概要

(1) 地区の特性

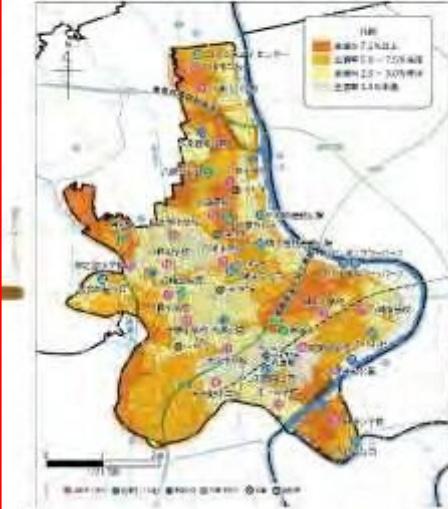
令和〇年〇月〇日現在

避難できる場所・避難できない場所

- | | | | | | | |
|--|--------------------------|-----------|----|-----------------------|--|--|
| ①自主防災組織の区域の状況 | 加入している世帯数 | おおよそで結構です | | | | |
| ・世帯数： 世帯 | ・人口： 鈞 人 | | | | | |
| ・支援が必要な人： 約 人 | | | | | | |
| ・ 持続的に身の安全を確保する場所（指定緊急避難場所） | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;">地震</td> <td style="background-color: #ffffcc;">水害</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ハザードマップ15ページから探してください</td> </tr> </table> | | 地震 | 水害 | ハザードマップ15ページから探してください | | |
| 地震 | 水害 | | | | | |
| ハザードマップ15ページから探してください | | | | | | |
| ・自宅で生活できなくなった人同士が共同で生活する場所（指定避難所） | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;">地震</td> <td style="background-color: #ffffcc;">水害</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ハザードマップ15ページから探してください</td> </tr> </table> | | 地震 | 水害 | ハザードマップ15ページから探してください | | |
| 地震 | 水害 | | | | | |
| ハザードマップ15ページから探してください | | | | | | |
| ・町会・自治会の土地の高さ（標高）は 約 m | | | | | | |
| ・町会・自治会内に狭い道路（道幅4mに満たない道路）がある ない | | | | | | |
| インターネットで「地理院地図」を検索
⇒「地理院地図 / GSI Maps 国土地理院」を開くと画面左下にあります | | | | | | |
| ②想定される災害 | ハザードマップ34～35ページから探してください | | | | | |
| ・【地震】今後30年以内に70%の確率で発生すると想定されている東京湾北部地震において、当地区の震度は 6弱 - 6強 全壊率は %以上 %未満、液状化の可能性は 高い - やや高い - 低い - 絶めて低い が予想されます。 | | | | | | |
| ハザードマップ4～5ページから探してください | | | | | | |
| ・【水害】氾濫した場合に最も浸水範囲が広い利根川が氾濫した場合において、当地区の浸水深さは m、浸水継続時間は 時間（日間）が予想されます。 | | | | | | |
| ・過去に発生した災害と被害 | | | | | | |
| いつ、どのような災害が、地区のどこで起こったのか書いてください。
（例）令和〇年の集中豪雨で、〇〇町〇番地付近で水があふれた。
・〇〇地震の時に、食器棚が倒れた事があった | | | | | | |

東京湾北部地震が発生した場合

第二部分

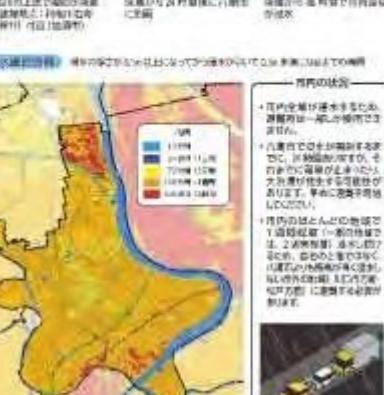
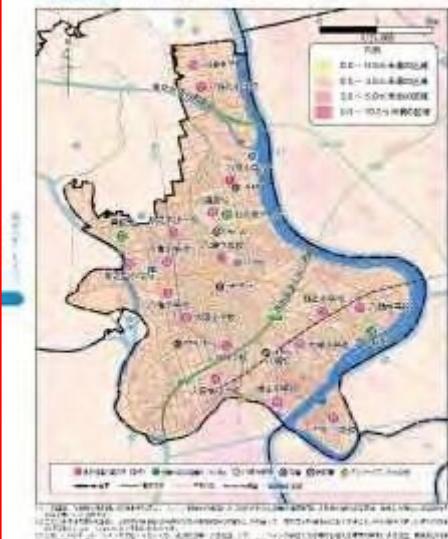


「飛行やすさ」は、八場町に大掛かりな豪華な羽子板を東京高架野毛橋駅付近に設置した。飛行の実験が成功して、飛行機と飛行艇の実験室を飛行場として飛行やすさを実現する。飛行場として飛行場として飛行やすさを実現する。



④利根川が氾濫した場合

• 本教材由“面向对象技术与方法”课程组编写，由清华大学出版社出版。



●過去に発生した災害と被害

⇒ みなさんで
挙げてみて

時間があれば
考えてみましょう！



この後、導入版の作成を進めるにあたって

- 班の構成と取り組みは今のままでよいでしょうか？
- 今後、取り組みが必要なこと
- その中で、特に取り組みたいこと
- 今年の防災訓練で、工夫してみたいことなど